



“北海道大学食資源学院の実習受け入れの時の集合写真”
10月4日グラッドニー牧場にて

コロナ長期化、地域の観光はどうなるか？

2019年12月中国湖北省武漢市の原因不明の肺炎の集団発生からはじまり、世界規模での大流行となった新型コロナウイルス感染症（COVIT-19）ですが、国境を越える人の移動が滞ってしまい、2年の時を経た今でも尚、外国人旅行者の受入ゼロの状態が続いています。

根拠があったわけではないのですが、昨年の今頃は「2021年夏には感染拡大が収まるだろう」と願いながら、ポストコロナに向けて欧米人をターゲットとするアドベンチャートラベルの商品造成などを実施しました。しかし、諸外国では新たな変異株オミクロン株の感染が拡大しており、世界全体で考えれば人の移動が妨げられる状況は一向に回復していません。しかし、国内に目を向けるとキャンプや釣りなどコロナ禍において、野外アクティビティへの関心が高まっていることがわかりました。そこで、今年度は日本人向けの新たなイベント開発を視野に入れ、サイクリング、釣り、バードウォッチング、アウトドアクッキングなど月例でミニイベントを開催することにしました。これら試験的イベントは、今後更にブラッシュアップさせることで、アウトドア体験の新商品になると考えています。また、コロナ禍による巣籠もり需要でECサイト（ネット上の通販サイト）を活用した地場産品等の売り上げが好調になっていることから、いつでも、どこでも買い物ができるネットショッピングは苦境のインバウンド事業に代わる収益事業として注目しており、当法人でも黒松内ならではのご当地商品やアウトドア体験に関連するグッズの発掘、企画開発を進めているところです。集客が難しい今だからこそ、皆さんと知恵を出し合って新しいプログラムや商品をつくっていききたいと思います。

（事務局長・本間）

B2 ニュースレター

2021/12/30

～次回の観光協会主催イベント～
観光交流ネットワークミーティング

Beech Couple Vol.3

※Beech は英語でブナ

今回は東栄地区で畜産を営むティムさん、チエさん夫妻を取材しました。

ページ 2

じり通信 No.22 文：山本竜也

様々な機器の進化で山歩きも便利で安心になってきました。みなさんも自分だけのスポットを登録したオリジナルなマップをつくってみてはいかがでしょうか。 ページ 2

フットパスクラブ通信 Vol.11

10月9日に行われたフットパスイベント「秋のくろまつない味覚ウォーク」のレポートです。

ページ 3

くろまかない飯 レシピ：そば屋この花

札幌から白井川地区に2021年3月に移転。おそばやさんのまかないを教えてください。 ページ 3

<<協会主催・協力イベント>>

冬のブッシュクラフト & テントサウナ

1月29日（土）～30日（日）

1泊2日で雪の中でのブッシュクラフトと今話題のテントサウナを楽しめます。

観光交流ネットワークミーティング

2月19日（土） 午後の予定

年に2回冬季に開催している観光関連事業者の交流や情報交換を目的としたイベントです。

Beech Couple Vol.3

2020年4月に黒松内町へとやってきたティムさんご夫妻。同年11月から東栄地区で「グラッドニー牧場」を開き、「再生型農業」を理念として、非耕起・無農薬・無施肥の圃場で肉牛を周年放牧しています。
※再生型農業：化石燃料を使わないことで農地とその生態系を保全、回復することを目的とした農業システム



ティムさん
テキサス州出身

チエさん
東京都出身

Q1：お二人が知り合ったきっかけは？

チエ ティムがアメリカで高校教員をしていて、私は日本で日本語講師をしていたのですが、日米の学校間の交流プログラムでティムが来日することになったとき、事前にオンラインレッスンで私がティムに日本語を教えたことがきっかけです。

Q2：黒松内町を移住地を選んだ理由は？

ティム 自然が豊かで放牧に適した土地があり、質の高いきれいな水が潤沢にあったからです。

Q3：町内で好きなスポットは？

ティム 東栄地区ですね。自然の美しさ、生物多様性、手つかずの清涼な水、素晴らしい！

Q4：一言で黒松内町ってどんな町ですか？

ティム 大きな店や遊技場を建てるなどの開発をしておらず、町民が自然を大切にしているし町をキレイにしようとするプライドを持っていると感じました。

Q5：難点をあげるとすれば？

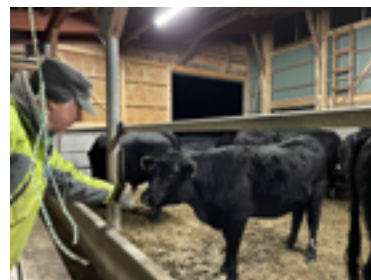
チエ 強いてあげるとすれば、家にテレビとインターネットがまだ通じていないことですね（笑）

Q6：これからやっていきたいことは？

ティム 再生型農業の理念で畜産をやって成功することで、若い人たちに「自分もやってみたい」と思ってもらい、この取り組みが増えるといいですね。私はそのモデルケースになりたいです。

チエ ゆくゆくは草だけで育てた健康にいい牛肉100%のハンバーガーと「テキサスバーベキュー」を地元で提供したいと思っています。そのため今は試作を重ねているところです。

※テキサスバーベキュー：ブリスケットという部位に数種のスパイスを擦り込み24時間以上グリルした料理



【編集から一言】ティムさん＆チエさんが育てているウシさんたちはとってもカワイイです。外から眺めているだけで癒されますよ〜♪
(※ウシさんを脅かさないように、ご注意ください！) (事務局・古本)

じり通信 No.22 「GPS」

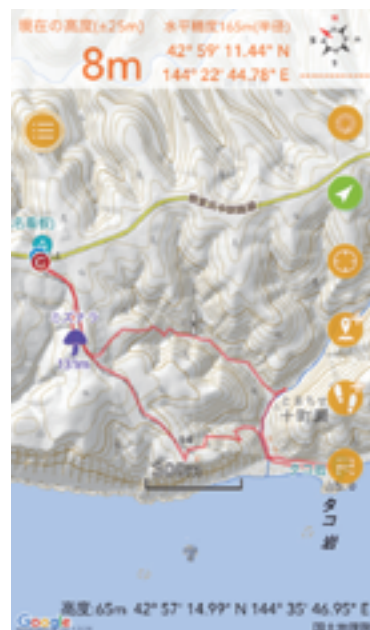
文：山本竜也

知床の森のなかで、迷ったことがある。細い道から外れて、崖のような斜面を下り、沢を探索して、さて帰ろうと斜面を登ったのだが、来たはずの道が見つからない。どういうことだ？ 地図とコンパスは持っているが、あせるうちに、どこにいるのか分からなくなる。沢を下れば、いずれ人家にたどりつく、というのは素人考えだ。滝があれば進退窮まるだろう。斜面に座り込み、チョコレートを食べ、気持ちを落ち着かせる。はっきり分かる場所まで戻ろう。斜面を下る。そして登り直す。ようやく道を見つけれ、心底ほっとした。

これを教訓に、登山用GPSを買った。2万5千分の1の地形図がディスプレイに表示され、現在地を確認できる。歩いたルートも記憶される。山菜やキノコの生える場所も登録できる。バッテリーが切れないかぎり、迷う心配はなくなった。

ところが、2年後だったか、島牧でナメコを探していたとき、「あっ！」と気付く。GPSが見当たらない。あわてて引き返すが、見つかるはずがない。マイタケの生えるミズナラの木も登録していたのに…。数万円するものをまた買うのもバカバカしく、迷いそうな森には行かないことにした。

それから数年、ガラケーからスマホに変えたとき、登山用GPSアプリ「ジオグラフィカ」の存在を知った。わずか1000円たらず。なのに、なくした登山用GPSよりもはるかに使い勝手が良い。道なき森を歩き、山菜やキノコを探す同好の士に告ぐ。遭難を防ぐためにも、自分だけの秘密の地を記録するためにも、このアプリをぜひお手元に。



フットパスクラブ通信 Vol.11

10月9日秋のくろまつない味覚ウォークレポート

10月9日にフットパスイベント「味覚ウォーク」が行われました。コロナ禍前では「グルメフットパス」という名前で行っていたイベントですが、10月1日からの緊急事態宣言が明けたばかりであるため、ランチの提供を避け、ウォークの途中で個別に用意したおやつ提供のみにしました。

参加者は総勢16名で一般参加者は11名で全員が町外の参加者でした。フットパスクラブ会員からは5名が参加、約6kmのコースを8時半から12時まで約3時間半かけてゆっくり歩き、3つの休憩ポイントで町の自慢のおやつに舌鼓を打ちました。一般参加者のうち2名は、はるばる関西大学からフットパスの研究の一環として来町いただきました。

当日は晴天に恵まれ絶好のウォーキング日和。イベントが始まり約30分後に最初の休憩ポイントで、ふぁーむいん富田さんで採れた心じゃがを使った揚げイモを食べました。次の休憩ポイントでは皆さんご存知の和生菓子すずやさんのご主人が丁寧に作り上げた「上用饅頭」をご提供しましたが、上品な味わいに皆さん大満足でした。最後の休憩ポイントでは町内で採れたミントをつかったオリジナルのミントサイダーと、佐藤農場さんの小麦を使用している「ブナサブレ」を食べ、ウォークの疲れを癒しました。

さらに道中は寺の沢川にてモクズガニがホッチャレを食べている貴重な場面に出会う事ができ、思わぬ見どころが加わったイベントとなりました。

(事務局・岡本)



くろまつない飯

～ベーコンもやし蕎麦～

黒松内の料理人にまかないレシピを教えてもらう企画！

第3回目は2021年3月に黒松内町白井川地区に札幌から移転OPENされたそば屋この花さん。

ベーコンもやし蕎麦を教えてもらいました。

【材料】

人数等に合わせてお好みの分量で！

・蕎麦
・そばつゆ

・ベーコン
・もやし

・長葱
・塩コショウ



作り方

- ①そばつゆを温めておく。
- ②ベーコンは適当な大きさに切る。
長葱はななめ切りにしておく。
- ③ベーコンともやし、長葱を炒める。
(塩胡椒を少々)
- ④蕎麦をゆでて丼に入れ、温めておいた汁を注ぐ。
- ⑤蕎麦の上に③で炒めたベーコン、もやし、長葱をのせたら出来上がり。

2度の中止の危機を乗り越えた快晴のサイクリングイベントレポート

10月30日に「e-bikeで走ろう！秋の黒松内周遊サイクリング」を開催しました。このイベントは、e-bike（電動アシスト付自転車）を利用して黒松内低地帯に広がる農村風景を駆け抜けながら、休憩ポイントで用意したスナックや昼食でのBBQを楽しんでいただく体験プログラムのモニタリングを目的としたイベントです。

当初は初秋の9月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響で開催を延期しました。更に順延開催とした10月17日も悪天候により順延となりましたが、10月末ようやく開催することができました。参加者は8名で、メインガイドには町内をくまなく自転車で走り回っているサイクリストの丸口弘之さんが務め、約30kmのコースを約5時間かけてゆっくりと走りました。当日は雲一つない晴天に恵まれ、これ以上ない絶好のサイクリング日和となりました。サイクリング開始直後は少し肌寒かったのですが、時間が経つにつれ気温が上昇し、風を切って走るのが気持ち良かったです。

参加者の中には60代後半の方々もいらっしゃいましたが、e-bikeの助けもあり疲労感をあまり感じることなく、皆さん完走することができました。今回のイベントのようにe-bikeを使うと、体力面でのハードルがぐっと下がり、普通に体力があれば老若男女誰でも楽しめるということがわかりました。

現在、観光協会ではe-bikeを所有しておりませんので、倶知安町でe-bikeを取り扱うホワイトアイルさんからレンタルをお願いしましたが、将来的には観光協会でもe-bikeを導入したいと考えております。来年度は、気軽に走れるe-bikeに乗って黒松内低地帯の素晴らしい景観を楽しんでいただけるような新たなコースづくりをしていきたいと思います。（事務局・岡本）



観光パンフレット第3版ができました

とうふ処みうらのご主人が描かれたイラストが目を引き、各所でご好評をいただいていた黒松内町の観光パンフレットですが、在庫減少に伴い、かねてより増刷準備を行っていたものがこの程刷り上がりました。増刷にあたって当初観光パンフレットを作成した時にはなかった店舗などが新たに掲載されています。

特に大きく変わったのは「黒松内産奈川そば」のページが出来たことです。奈川そばを生産するアルプスファームの取り組みについてや、黒松内に移転開業されたそば屋この花さんなど、町民のみなさんにとっても「へえ〜！」と思える情報があるかもしれません。

観光パンフレット第3版は道の駅など町内の観光交流施設や、近隣の観光協会、道の駅などで配布したり、観光商談会や各種PRイベントなどで活用していく予定です。（事務局・澤田）



観光協会 HP にて「B2」バックナンバーがご覧になれます。www.bunatatourism.com

印刷版をご希望の方は観光協会までご連絡下さい。

発行人：一社) 黒松内町観光協会 発行日：2021年12月31日 次回発行予定は3月末

TEL：0136-72-3597 FAX:0136-75-7070 MAIL：bunatatourism@gmail.com